

「無我夢中 ～弥生の歴史を変える時～」



春日 崇広

(高校 55 回) 伊那市在住

伊那弥生ヶ丘高校平成14年度卒業生の春日崇広です。このたびは、創立100周年大変おめでとうございます。この記念すべき事業に、まだまだ駆け出しの私が、協力させていただくことができ大変うれしく思っております。弥生ヶ丘高校について思う事をということなので、少し書かせていただきます。

私の伊那弥生ヶ丘高校は野球に始まって野球に終わった高校時代でした。そんな私のグローブの中に刺繍してある言葉があります。それは「無我夢中」です。

一生のうちで高校時代は一度しかありません。何が正しいかなんて高校時代は関係ありませんでした。無我夢中になれることに没頭すること、無我夢中になれるものが無ければ、それを探すことに夢中になること、それが答えだったと私は思っていました。その経験が必ずその先の人生でとても役に立つと思いました。

いろいろ書きたい高校での思い出はありますがとても書ききれないので、そこで在校生の方々や、これから弥生ヶ丘高校を目指す方に向けて、少しだけ私の想いを伝えさせていただきます。

まず、たくさん迷ってください。でもあきらめずに、そして決してやめないで、何でもいいのでやり続けて下さい。やりたいことは、死ぬ気になれば何でもできます。でも命を大事にして下さいね。

次に親には沢山心配をかけて下さい。それが親の仕事かもしれません。しかし、感謝の心をいつも心に片隅にもっていて下さい。親は最高、最強の応援団です。

そして、掛けがいのない仲間をたくさん作って下さい。高校時代の仲間は本当に一生の仲間です。更にそんな仲間たちと、たくさん笑ってください、たくさん泣いてください、たくさんケンカして下さい。またみんなでたくさん怒られて下さい。

最後に弥生ヶ丘高校生であることを自慢してください。自慢できるような高校生になってください。そのパワーが卒業した私達に勇気をくれ、とても励みになります。

少し偉そうなことを言ってしまいましたが、無我夢中になる！それが出来るのが高校時代です。また、そのすべてが叶うのが伊那弥生ヶ丘高校です。それを実現することが出来た私が言っているのが本当だと思います。

そんな無限のパワーを持った現役のみなさんと、その歴史を積み上げてこられた諸先輩方を誇りに思います。

これからも、弥生の歴史を積み重ね素晴らしい高校になっていくよう期待しています。